

ぎょうむそくほう

【ダイジェスト】

No.677

2025年6月12日

東海旅客鉄道労働組合

<https://www.jrtu.jp>



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進！



Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION/Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION/Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

業務委員会を開催

ユースディスカッションで寄せられた意見・要望等に基づき議論

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION/Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION/Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

6月12日、申第14号「ユースディスカッションで寄せられた意見・要望等に関する申し入れ」に基づき業務委員会を開催し、会社と議論を展開した。

業務委員会では、分会・支部での「ユースディスカッション」、地本・総支部での「総括ディスカッション」で寄せられた3,200件に及ぶユース組合員の率直な意見・要望を基に、ユース組合員の想いを踏まえた議論を展開した。

具体的には、ユース目線から見た職場の課題や実情に触れ、工務現業へのフレックスタイム制の導入や、スマートワークの一層の充実、山間地区での環境整備、カスハラ・ペイハラ根絶に向けた対応など、ユース特有の柔軟な発想や考えによる意見・要望等を会社に強く主張した。

特に、要員の課題に関しては、休日勤務等の解消に向けて、適切な要員配置を求めるとともに、業務の廃止・簡素化を強く主張したところ、今秋を目途に、遺失物管理業務の効率化を目的として、生成AIを活用した遺失物連携クラウドサービス「find」を導入することが明らかになった。

JR東海ユニオンは、組合員から寄せられた意見・要望等を踏まえ、引き続き広範な議論を展開していく。

【主な議論内容】 (黄色部分は、現時点において前進を確認した事項)

- (1) 社員が働きがいを持ち業務に取り組める勤務体制と環境の構築
(フレックスタイム制、在宅勤務、山梨・長野地区における手当の拡充)
- (2) 社員が安心して業務を遂行できる環境の構築
(カスタマーハラスメント防止、ペイシェントハラスメント防止)
- (3) 要員不足の改善と業務量に見合った要員配置(駅及び運輸系統での要員確保、遺失物業務の見直し、看護師・保健師の要員不足、業務量に見合った要員配置)
- (4) 乗車券類購入時の決済手段拡大(駅・列車内における決済手段拡大)
- (5) 接客制帽の一部着用省略
- (6) 人間ドックの受検年齢引き下げ
- (7) 女性特有の健康課題への対応

・「名古屋セントラル病院ガイドライン(旧社員必携)」を整備し、内容を掲載し、全社員に周知
・3月には、全社員対象のペイハラ対応教育(動画視聴)を実施
・4月から、名札の記載事項を変更(姓のみ・顔写真廃止)、病棟等の出勤者氏名札の掲出を廃止、病棟等に暴言・暴力・悪質クレーム等を許さない旨の告知ポスターを掲出

・各係員がスマートフォンやタブレットを活用して、遺失物管理クラウドサービス「find」に情報登録するのみとなり、遺失物切符、遺失物明細簿を廃止
・JR東海お忘れ物センターを設置し、遺失物を1箇所に集めて警察対応を集約化することにより、各駅での警察とのやり取りが不要に
・本施策による直轄駅の要員・体制の変更はないことを確認

※議論内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。